

# 秋田県沖合域の水温状況 (令和8年6月)

漁業調査指導船「千秋丸」により5月25～26日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

表層	「かなり低い」～「平年並み」(平年との水温差平均: -0.9℃)
50 m層	「かなり低い」～「やや高い」(平年との水温差平均: +0.2℃)
100m層	「かなり低い」～「かなり高い」(平年との水温差平均: +0.3℃)
200m層	「やや低い」～「かなり高い」(平年との水温差平均: +0.4℃)
300m層	「平年並み」～「かなり高い」(平年との水温差平均: +0.3℃)

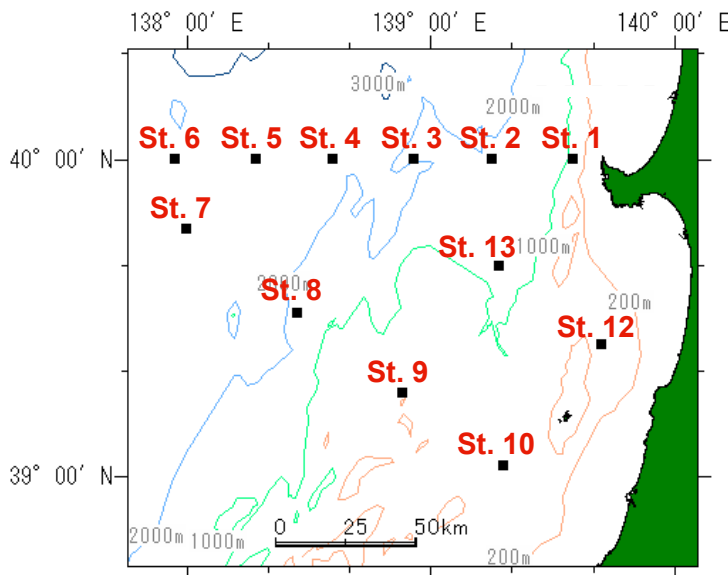


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

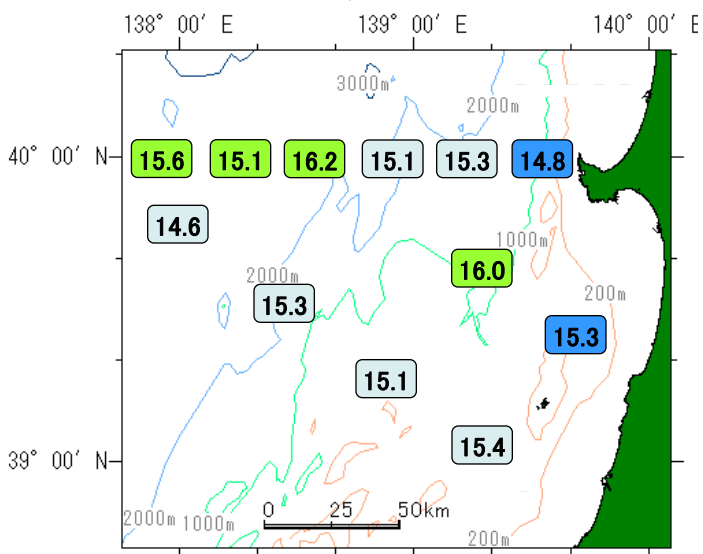
表 水温の評価区分

評価	偏差*	出現確率
はなはだ高い	+200を超える	約22年以上に1回
かなり高い	+130を超える ～ +200以下	約7年に1回
やや高い	+60を超える ～ +130以下	約3年に1回
平年並み	±60以内	約2年に1回
やや低い	-130以上 ～ -60未満	約3年に1回
かなり低い	-200以上 ～ -130未満	約7年に1回
はなはだ低い	-200未満	約22年以上に1回

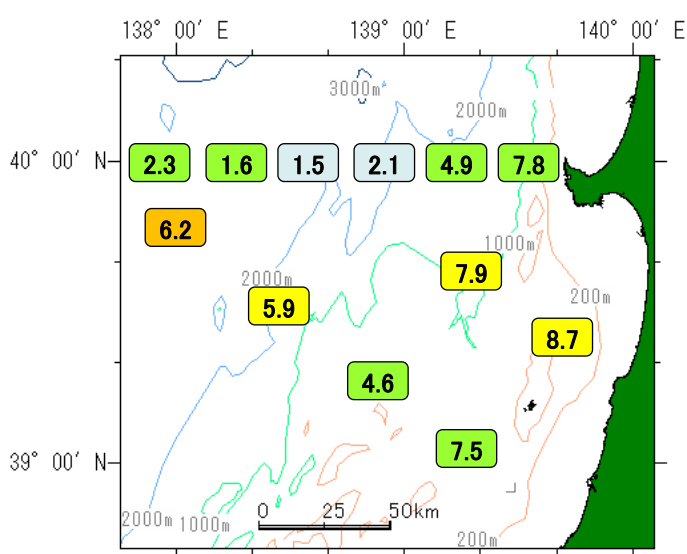
\* 偏差 = (観測地 - 平年平均値) / 平年標準偏差 × 100

平年値 = 1991～2020年の30年平均 (気象庁の平年値に準じる)

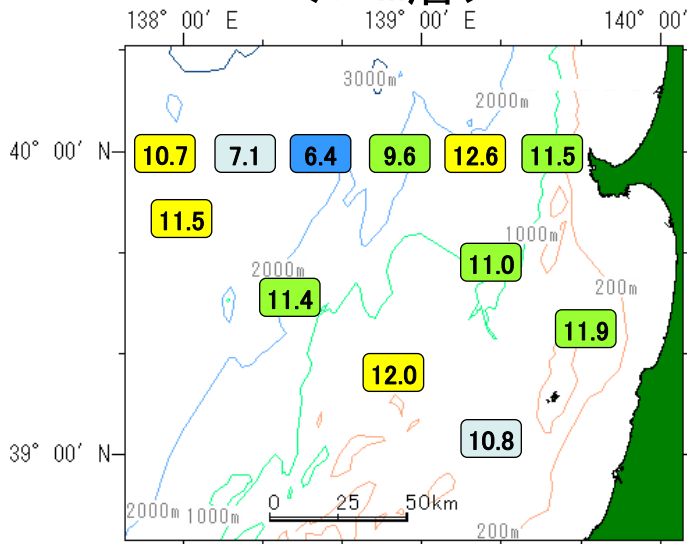
### <表層>



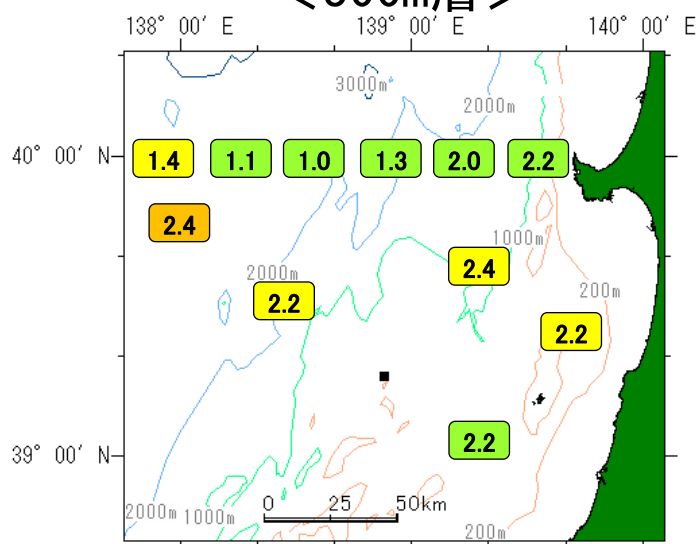
### <200m層>



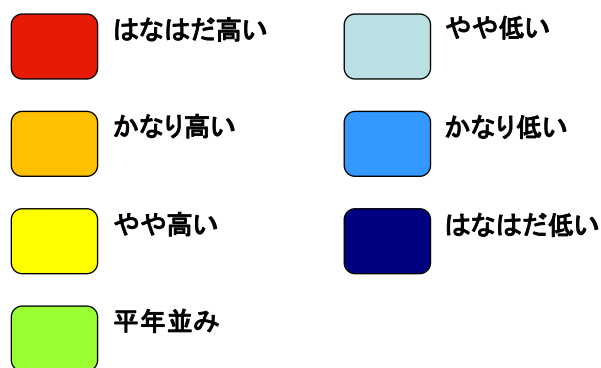
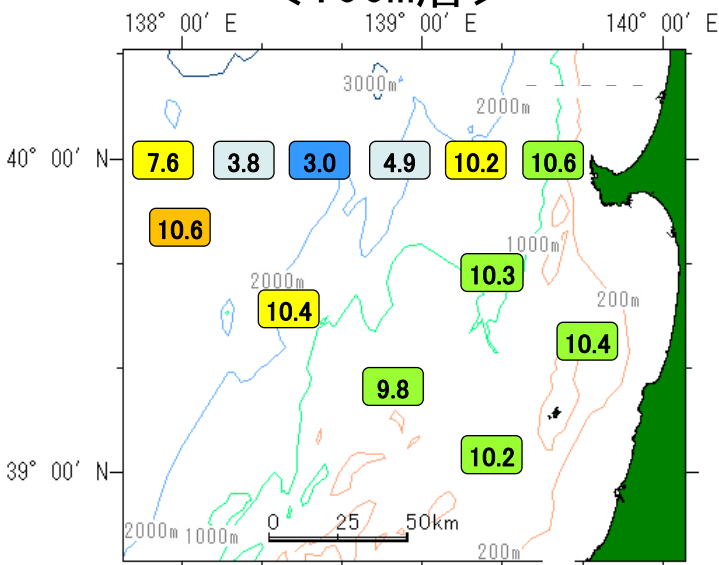
### <50m層>



### <300m層>



### <100m層>



<図2 各層の水溫観測値(°C)と評価>